

発行日 2024年4月15日
発行人 田辺 証夫
編集人 小堀 日出春

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

New York Report

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

英語バイブルクラス 第3期終了

昨年1月から開始していた英語で聖書を学ぶ求道者クラスが今年2月29日で全テキストを終了しました。レギュラーメンバーの求道者3名が最後まで熱心に学んでくれました。今後また新しいテキストを使った学びを計画しています。



バイブルクラスで熱心に聖書を学ぶ参加者たち

イースター子どもイベント

3月23日（土）にリッジウェイ教会と合同で子どもイースターイベントが行われました。当日はあいにく土砂降りの天気でしたが、それでも、200名以上の子どもたちが集まり、日本人家族も7組参加しました。

イースターイベントでイエスの復活のストーリーを聞く子どもたち



春のゴスペルワークショップ開始

3月14日（木）から、Greg KellyとTim Rileyの2人の指導による春のゴスペルワークショップが始まりました。=写真。今回の参加者は大人27名、子ども26名です。コンサートは5月

18日（土）にリッジウェイ教会で行われる予定です。



帰国した98歳の教会員の状況

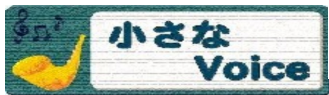
昨年12月に衰弱が激しい中なんとか帰国した教会員は、その後体力回復のための入院を経て介護施設での生活に移り、状況は安定してきています。皆様のお祈りに感謝いたします。

【祈りの課題】

- イースター子どもイベントに参加された日本人7組のご家族、春のゴスペルワークショップ・コンサートに参加するメンバーたちの教会とのかかわりが深められ、信仰が与えられる方が起こされるように。
- 日本で療養中の笹川由利子師の守りといやしのために。
- 宣教活動継続のため経済的が必要が満たされるように。

笹川雅弘宣教師を支える会（かもい聖書教会）
電話：045-931-3312
Mail: kimikuma1126@gmail.com
HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>

しかし、主は真実な方です。あなたがたを強く、悪い者から守ってください。



村上正道
LMI世界宣教会理事



「遣わされること
がなければ..」

「また、私の神は、キリスト・イエスの栄光
のうちにあるご自身の豊かさにしたがって、あ
なたがたの必要をすべて満たしてください。」
(ピリピ人への手紙 4章19節)

私は以前に、ある宣教師の報告として現地の人が、
「あなたを派遣している教会の人たちによろしくお伝

えください。もしあなたが、この地に派遣されなかつたなら、私はイエス・キリストのことを聞く機会がなかったでしょうから」と言っておられたということを知りました。まさに宣教の働きは、遣わされる者たちと遣わす者たちとのチームワークによって成り立つものであることをあらためて思われます。

私たちがささげ物によって支援することにより、遣わされた宣教師の働きを通して聖霊のみわざの中で、福音を聞き、イエス・キリストを救い主として信じる人たちが起こされます。そのことを信じ、宣教師の働きを覚えて祈りつつ、ささげ物に加わらせていただきたいと願われます。

2月17日に行われました総会を経て、2024年度が始まりました。これまでの支援の働きに心から感謝をするとともに、新しい年度も宣教の支援の輪に加わってくださいますよう、何卒よろしく願いいたします。

(湘南のぞみキリスト教会牧師)



SAMBIA (ザンビア)

神のみことばには
力があります

アフリカ南部ザンビアの女性の証しを紹介します。

モーリーン・ファカティ=写真左端=は3年ほど前、初めてザンビアのリーベンゼラ宣教団のマイアー宣教師の教会に来ました。彼女は多くの苦しみを経験しましたが、神のみことばを通して新たな力を得ました。彼女はその経験についてこう語っています。「私の名前はモーリーン・ファカティです。私は65歳で、離婚し、引退した会計士です。私の6人の子供のうち2人は幼い頃に亡くなりました。2015年、孫娘の一人が交通事故に遭いました。自分の子ども



が死んだと聞いた娘はとてもショックを受け、同じ日に亡くなりました。2人を同時に埋葬するのはとても辛いことでした。その後、数年にわたり近親者の死が続きました。今、生きているのは2人の子供だけです。『どうしてこんなことが私に起こるの？神様、あなたはどこにいますか』と私は自問しました。私は食べることも眠ることもできず、人生に立ち向かう勇気を失いました。家族は私の不幸を責め、魔術のせいだと非難しました。親戚に指をさされるのは耐え難かった。

それでも私は聖書を読み、神のみことばに頼ることにしました。ある日、私の感情の状態が変わりました。

神様は私の状況にぴったり合う聖書の箇所を私を慰め、励ましてくださいました。私はついに平安を見つけました。神様はまた、教会の礼拝や他のクリスチャンたちを通して私の人生に語りかけ、私を建て上げてくださいました。」

ファカティ夫人は、福音の素晴らしい力を示す多くの例の一つです。多くの苦しみ、悲しみや苦難の経験にもかかわらず、彼女は今日でも信仰を持ち続けています。神のみことばが彼女の傷ついた心を癒し、今では教会の他の女性たちを明るくサポートしています。

(トーマス・ベック：LMI-Jチームリーダー)

タラントのたとえ

バングラデシュ医療宣教師
近藤 恵



みなさまお元気ですか？私は、まだビザは与えられていませんが、最善の時に与えられることを信じています。

先日の自治医大前キリスト教会のメッセージの箇所は、タラントのたとえのところでした。私は、このタラントのたとえを読むたびに、「私はタラントを増やしていない」と肩身の狭い思いをしていました。また、1タラントを預けられたしもべに対する主人の扱いはひどすぎるのではないかと感じていました。確かに彼は、5タラント、2タラント預けられたしもべのように、増やさなかったのですが、少なくとも減りもせず、盗まれもしていません。でも、ポイントは、しもべと主人の関係にあるのだというのを知りました。5タラント、2タラントを預けられたしもべは、主人を愛しており、主人に喜んでもらいたくて一生懸命商売をし、預かったものを増やしています。でも1タラント預かったしもべは、主人を「蒔かなかったところから刈り取り、散らさなかつたところからかき集める、厳しい方」だと思っており、1タラントを地面に穴をほり、隠しておいたのです。増やさなかつたということより、このしもべは主人を愛していなかつたということが問題なのです。主人は各人の能力に応じて、タラントを預け、5タラントもうけたしもべも、2タラントをもうけたしもべも同じように喜んでくれます。もし一生懸命やってタラントを減らしてしまったとしても、喜んでくれるのです。これを聞いて、肩の荷がおりたような気がしました。

ところで私は実家に月に一度帰っていますが、この時は私が料理をします。私は決して料理上手ではありませんが、学生時代から自炊しているので、自分で食べる分にはそれなりに満足して食べています。でも母の口には合いません。ある日「あなた、割烹学校に行ったら」と言われました。これを聞いて、「こんなことを義理のお母さんに言われたりしたらいやだろうなあ、結婚してなくて本当に良かった」と心から思いました。そしてさらに私の想像は膨らみます。お弁当を持って行かせた子

もが言うのです。「ママのお弁当は、かわいくないからいや！みんなのは、もっとかわいいんだよ！」毎日こんなこと言われたら、地獄だなあとと思います。神様は私に家庭生活をするタラントは与えられませんでした。それは本当に幸いなことだと思いました。私には、私にちょうどよいくらいのタラントが与えられていて、一生懸命やっていたら、それで神様は喜んでくださるのだと思えるのは、本当に幸せだと思います。

天の御国は、旅に出るにあたり、自分のしもべたちを呼んで財産を預ける人のようです。彼はそれぞれの能力に応じて、一人には五タラント、一人には二タラント、もう一人には一タラントを渡して旅に出かけた。するとすぐに、五タラント預かった者は出て行って、それで商売し、ほかに五タラントをもうけた。同じように、二タラント預かった者もほかに二タラントをもうけた。一方、一タラント預かった者は出て行って地面に穴を掘り、主人の金を隠した。さて、かなり時がたってから、しもべたちの主人が帰って来て彼らと清算をした。すると、五タラント預かった者が進み出て、もう五タラントを差し出して言った。『ご主人様。私に五タラント預けてくださいましたが、ご覧ください、私はほかに五タラントをもうけました。』主人は彼に言った。『よくやった。良い忠実なしもべだ。おまえはわずかな物に忠実だったから、多くの物を任せよう。主人の喜びをともに喜んでくれ。』

(中略) 一タラント預かっていた者も進み出て言った。『ご主人様。あなた様は蒔かなかったところから刈り取り、散らさなかつたところからかき集める、厳しい方だと分かっていました。それで怖くなり、出て行って、あなた様の一タラントを地の中に隠しておきました。ご覧ください、これがあなた様の物です。』しかし、主人は彼に答えた。『悪い、怠け者のしもべだ。私が蒔かなかったところから刈り取り、散らさなかつたところからかき集めると分かっていたのか。(中略) この役に立たないしもべは外の暗闇に追い出せ。そこで泣いて歯ぎしりするのだ。』 (マタイ25章14～30節)

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

E-mail: meg0_02007@yahoo.co.jp

【現地】 Garo Baptist Convention
Christian Health Project
Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260
Mymensingh, BANGLADESH

【祈りの課題】

- ビザがちょうどよいときに与えられるように。
- 4月から仕事をやめて一人暮らしをする母が守られるように。
- ジョイランクーラのドクター・ルーシーとドクター・タポシュのために。
- 母と姉の救いのために。

2024年 LMJ 総会報告

2024年2月17日(土)に、かもい聖書教会(Zoom併用)においてLMJ総会が行われました。各派遣教会とLMJに関係する教会から計21名が出席し、2023年になされた各宣教師の働きの報告と2024年の計画案、および決算・予算案が承認されました。

近藤恵医療宣教師はビザ取得の関係で日本滞在期間が延びた一年となりましたが、この間、高齢になられているお母様のフォロー、派遣教会での交わり、ご支援くださる教会でのデピュテーション、医療従事者として日本の病院での研鑽、メディアでの証しなど、特別な主の恵みがあったことが分かち合われました。

笹川宣教師は現地深夜にも関わらずZoomで出席くださり、現地の様子を報告くださいました。夫人の由利子師は思いがけず腎臓の数値に異常が見つかったために日本で治療を続けることになった年でしたが、むしろ日本にいなければできない働き(支援くださる諸教会との繋がりや、帰国者のフォロー)やオンラインを

通じてのNYめぐみ教会でのご奉仕がなされ、ゴスペルによる伝道が用いられている報告を含め、変わらずに主が宣教を支えてくださったことをお聞きし、御名を崇める時となりました。



NYめぐみ教会とリッジウェイ教会が共催したイースター子どもイベントで工作に挑戦する子どもたち(3/23)

理事会便り

★毎月第一金曜日に行われている「LMJ祈禱会」に是非ご参加ください！お問い合わせは事務局まで。

★近藤恵医療宣教師のビザ取得の手続きが進んでいます。無事にビザが与えられ、バングラデシュに向かうことができますように。またジョイランクーラ・クリスチャンホスピタルの必要のためにお祈りください。同刻の祈りにもご参加ください。

★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻の

働きのために。由利子宣教師の療養と癒やしのため。単身赴任中の雅弘宣教師の働きのため。グリーンカード取得を願っています。たんぼぼミニストリーの祝福のため。人的・経済的な必要が、記録的な円安が続く中でも満たされるように続けてお祈りください。

★各宣教師を送り出すそれぞれの支える会、また理事会の働きが、宣教師を正しくサポートするために用いられますように。宣教師志願者が起こされた時の十分な備えのためにも。

★ホームページの作成を始めます。働きが周知され、祈りの輪が広げ

られるために用いられますように。

★JOMAなどの他団体との働きが祝福されますように。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。ともに祈りましょう。

【祈り】「こうして、教会は、ユダヤ、ガリラヤ、サマリヤの全地にわたり築き上げられて平安を得た。主を恐れ、聖霊に励まされて前進し続け、信者の数が増えていった。」(使徒9:31) 聖霊に励まされて、宣教の働きが前進し続けますように。

(田辺証夫・LMI世界宣教会理事長)

LMI世界宣教会 (LMJ)

(LMJ 本部 & ☎226-0003 横浜市緑区鴨居2-29-4(かもい聖書教会会付 ☎&Fax 045-931-3312)

会計事務局) E-mail: LMJ@outlook.jp

→ 献金送金の際、「ゆうちょ銀行通帳」から電信振替(ATM)をご利用されると振替用紙より割安で送金できます。

(LMI) <http://www.liebezell.org/>(ドイツ語), www.liebenzell.ca/(英語) 郵便振替 00110-1-91993「LMI世界宣教会」

【常任理事】田辺証夫(理事長 lmijapan.tanabe@gmail.com) 熊久保公義(副理事長&書記) 村上正道(会計)

トーマス・ベックス(LMI担当) 小倉 泉(Bg) 立石聖美 【協力理事】木島正敏 兵藤陽子 立石尚志 小堀日出春(Voice編集)

【監事】野村卓一、佐藤陽一 【会計事務】安藤真里 佐藤かおり